

令和5年度

試験名： 推薦入試

【 人間 学群 障害科 学類】

区 分	出 題 意 図 ・ 解 答 例
一般	<p>今回の推薦入学試験では、障害科学類の専門分野に関連する外国語(英語)を読ませることによって、外国語(英語)の読解力、論述における要旨の明確性、論理性、独自性等を評価することを目的としている。</p> <p>障害科学は学際的な学問でありその専門性は多岐にわたる。今回は、ロシアの軍事侵攻によって危機に直面するウクライナの障害者に関する記事と、カリブ海諸国における災害時の障害者支援の問題を扱った記事を取り上げた。</p> <p>英文の出典は、いずれも World Economic Forum のホームページに掲載された記事のなかから、“Ukrainians with disabilities are being left behind. It’s time for concerted humanitarian action.”と“Why the world needs to think about disabilities in a world of climate disasters.”より、いずれも一部改変して用いた。軍事侵攻や大規模な自然災害といった予測困難な緊急事態に際して、障害者が命の危険にさらされること、そうした状況に備えて障害者や団体の意見を反映させた国や支援機関の活動方針をたてることの重要性などが、読みやすい英語で書かれている。</p> <p>問題1では、ウクライナの障害者がおかれている状況や、適切な救援を行うために何が必要かについて英文を読み取り日本語に訳すことを求めている。問題2では、カリブ海諸国における障害者の災害時支援の現状と課題について、要約することを求めている。問題3では、2つの文章を読んで、非常事態に備え、障害のある人や団体の意見を反映させた政策や活動方針をたてるために必要なものとは何かを考え、論じることを期待している。</p> <p>英文では、軍事侵攻や自然災害など命の危険を伴う状況が発生したとき、障害者が遭遇する困難はどのようなものか、障害者自身の意見を反映させた活動がどのように重要なかが、わかりやすく具体的に説明されている。新型コロナウイルス感染症の流行を含め、近年の国際社会では予測できない事態の発生が相次いでいる。こうしたなかで、障害者自身の意思を尊重しながら彼らの命を救うためにどうしたらよいかは、若い世代にぜひ考えてほしい視点であり、障害のある人の支援や権利擁護について学ぶ障害科学においては、知識としても重要である。</p> <p>本問題では、その基本的な部分を読み取り理解するだけでなく、自らの考えを論理的に展開することを求めている。</p> <p>以上のような点から、本問題は障害科学類の小論文問題として取り上げるに適切であると考えられる。</p>